

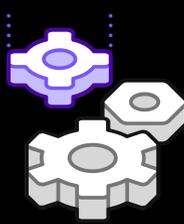
AIへの不安を軽減する 5つの方法

AIを組織で最大限に活用する方法について不安を感じているのは、あなただけではない。AIへの関心の高まりは、最初に「発掘」できなければ遅れを取ってしまうといった、「ゴールドラッシュ」の様相を呈しています。しかし、これは真実とはほど遠い状況です。

多くの企業はAIを使い始めたばかりであり、AIジャーニーに繰り出したばかりの段階で必然的に生じる不確実性や疑念を軽減するために、重要な質問に対する答えを必要としています。以下にご紹介するのは、混乱の中でも前を見据えて、より確実にAIの道のりを進むのに役立つ5つの重要な要素になります。

90% Nutanixのグローバル調査の回答者のうち、自社がAIを優先事項として捉えていると答えた割合。

不安



どこから取り掛かるべきか分からない

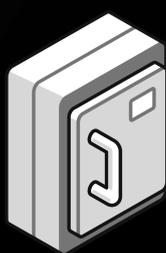
回答:

社内の他のプロジェクト同様にAIに取り組み
パートナーの専門知識の活用を検討

AIのコストが制御不能なほどに上昇してしまう

回答:

想定外のコストを伴わないコスト予測可能なプラットフォーム上で
AIをインテリジェントに開発し実行



AIによって自身のデータが漏洩してしまう

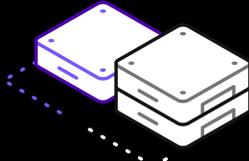
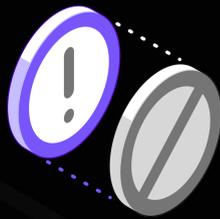
回答:

機密情報、専有情報、個人情報を第三者のAIサービスに委託しない

AIは不正確な結果を出すのではないか

回答:

AIのトレーニングデータおよびモデルのバージョン管理と
ライフサイクル管理を計画



AIをサポートするのに十分な インフラストラクチャーがない

回答:

小規模なPoCプロジェクトから始めて、経験を積みながらAI業務を成長していく。パソコンでAIモデルを学ぶことから始めることもできます。

AIは、あくまでもただのアプリ だという事を覚えておきましょう。

AIを組織のどこに、どのように導入し、また従業員がどのようにAIを活用するのか、完全にコントロールできます。既存のアプリケーション同様、社内におけるAIの活用方法はビジネスニーズと好みによって決まります。

これを念頭に、AIも他のアプリケーションと同じ要件を多数抱えていることを覚えておきましょう:

- ソフトウェアおよびデータのバージョン管理とライフサイクル管理
- 十分なストレージ性能、容量、そして拡張性能
- 十分なネットワーク帯域幅
- 適切なメモリサイジング
- グラフィック処理装置 (GPU) をメモリとコア数に合わせてサイジング
- 複数のGPUをサポートする中央処理装置 (CPU)

制御、プライバシー、セキュリティを実現する最適なインフラストラクチャーで、AIによる変革をスタートさせ、AIを最大限に活用することができます。

[さらに詳しく](#)